

都留市の農業の発展を目指して

～ふるさと・水と土指導員の取り組み～

奥秋 久さん プロフィール

- ・ 生年月日：1951年生（65歳）
- ・ 出身地：山梨県都留市
- ・ 会社員をやっていたが、早期退職後、農業を始めました。地域で有害鳥獣の追い払いや駆除活動の取り組みや農地中間管理機構を活用し、営農規模拡大を行っています。



奥秋さんのあしあと



●多面的機能支払交付金に取り組む奥秋さんと川棚地域のみなさん

奥秋 久さんにインタビュー

● 農業を始めようとしたきっかけは。

「家庭の事情により、会社を早期退職後、自給自足の生活をしていこうと決意した。そのときに、食が一番大事になると考えたため、農業を始めたいと思うようになった」

● これからの目標は。

「現在も野菜や果樹を育てているが、営農の規模を拡大させ、少量多品目栽培に努めていき、農業を中心とした生活を確立していきたい」

● 都留市に期待することは。

「道の駅つるもオープンし、地域が活性化する資源が増えたので市の魅力を宣伝し、農業の担い手が増えることに期待している。また、新たな特産品づくりに力を入れ、地域農業が発展するような施策を考えてもらいたい」

● 最後に一言お願いします。

「農業は、人が生きるための食の根本となる部分であり、その重要性を理解する必要がある。そのため、県や市、地域と連携し基金活動を行い、多くの方に普及啓発していきたい」



● ポピー



● ネモフィラ



● 赤ソバ

● 奥秋さん主導のもと、地域住民と「**花の郷こせえるじゃん甲斐プロジェクト**」によってポピーやネモフィラなどの色鮮やかな景観作物を育てています。

